

# ○総務常任委員会

1. 委員構成（6名） 委員長 村田春樹 副委員長 戸田見良  
委員 市村文男、大槻良明、岩本好夫、谷仲和雄

2. 所 管 市長公室、企画財政部、総務部、市民生活部、防災管理課、  
議会事務局、消防本部、会計課、監査委員会事務局

3. 審議内容（24件）

付託案件	件数	審議結果	
条 例 案	11件	可決すべきもの 11件	否決すべきもの 0件
補正予算案	7件	可決すべきもの 7件	否決すべきもの 0件
その他議案	5件	可決すべきもの 5件	否決すべきもの 0件
請願・陳情	1件	採択すべきもの 0件	不採択すべきもの 1件

#### 4. 所管部署の主な実施事業（※議決した案件の一部を記載しています。）

##### (1) タブレット導入によるペーパーレス事業(新規)（R3.3.18議決、R3.4.1執行）

タブレット端末 並びに ペーパーレス会議ソフトウェアを導入することにより、これまで印刷物で作成していた議案書及び関係資料等のペーパーレス化を進め、紙媒体の削減による業務の省力化・電子化による迅速な情報の伝達及び共有を推進し、事務の能率向上並びに議会運営の効率化を図れるよう環境を整備する。



##### (2) 遺族専用窓口事業(拡充)（R3.3.18議決、R3.4.1執行）

故人に関する行政続きを1か所で済ませることができるワンストップの専用窓口「おくやみデスク」を令和2年度から開設し、令和3年度は、関係部署が共通で使用する「遺族専用窓口システム」を導入し、死亡に伴い発生する各種手続きの簡略化及び効率化を進め、更なる遺族の負担軽減を図る。

**(3) 公共交通ネットワーク事業(拡充)(R3.3.18議決、R3.4.1執行)**

子どもから高齢者までの全ての人が、気軽に楽しく外出できる社会の実現に向けた公共交通ネットワークシステムの構築を目指し、平成25年度から循環バスによる公共交通実証運行を実施してきた。市内循環バスにおいて循環ルートを見直し、新たに往復ルートの形態で再編し本格運行に移行する。また、3密を避ける対策として、バスロケーションシステムを導入し、混雑状況並びに車両現在位置を把握できるシステムを運用する。

**(4) 防犯施設整備事業(拡充)(R3.3.18議決、R3.4.1執行)**

新規の県補助金を活用して防犯カメラを設置する。またLED防犯灯については、夜間の犯罪抑止及び通行の安全確保を目的に継続して市内全域を対象に、また、基地周辺地区については、防衛省の補助金を活用して新設・更新工事を進める。現在設置しているLED防犯灯は従来の防犯灯よりも消費電力が少なく器具の寿命が長いことから、防犯灯の維持管理費の軽減及び環境負荷の軽減が期待できる。

**(5) 環境フェスティバル事業(新規)(R3.3.18議決、R3.4.1執行)**

前回の開催では、霞ヶ浦の環境保全・水質浄化の継続的な取り組みなどを中心に啓発してきたが、今回はゼロカーボンシティ、SDGs など新たな環境課題に対してもより深い関心と理解をいただくため、市民の皆様との協働により、環境フェスティバルを開催する。